

2020年度第4回理事会議事録

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

1. 招集年月日 令和2年10月13日
2. 開催日時及び場所
 - (1) 開催日時 令和2年11月25日水曜日午後6時半
 - (2) 開催場所 文星芸大附属高校総合研修センター
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数
 - (1) 理事数 28人、特任理事数 2人
 - (2) 出席理事数18人
出席特任理事数 2人
4. 出席理事の氏名
小曾戸和彦、片桐晃、齋田一郎、鈴木克美、直井秀幸、阿久津宏一、大平幸造、小林幹央、梶崇司、益子基久、渡邊明美、山田将樹、菊地宜秀、齋藤宣子、佐藤圭一、大保寺真也、渡邊整、前原延之、
5. 出席特任理事の氏名
高橋哲夫、日向野剛
6. 報告事項
 - (1) 活動報告（各カテゴリー一部会長・3x3委員長）
各カテゴリーから今後の活動予定について報告があった。いずれも、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての開催となる。
 - (2) Jヴィレッジ視察について（専務理事）
福島県のJヴィレッジ視察について報告がある。
無料宿泊チケットがあるので合宿などに利用してほしい。
 - (3) 強化部会報告（渡邊明美強化部副部長）
佐藤強化部長より2032年までの指針が示された。
強化部会名簿の作成など2022いちご一会栃木国体に向けて話し合いがなされた。
また、それに合わせて、専務理事より「栃木未来構想」が発表された。
 - (4) 審判委員会より（梶審判長）
B級審査会実施報告があった。
2022国体に向けて強化講習会の実施スケジュールが発表された。
 - (5) 事務局より（専務理事）
現時点での財務状況が報告された。
賛助会事業計画が報告された。
今年度補正予算・来年度予算について報告があった。
 - (6) ブレックス（ブレックス担当山田）
ブレックスについて今シーズンの経過報告・次節以降のリーグ戦について報告があった。
 - (7) その他
 - ①専務理事より、先日のジュニアウィンターカップ県予選において選手の退場事案があり、規律委員会を開催したこと、およびそれをJBAに報告したことの説明があった。
 - ②専務理事よりJBA専務理事会議の報告があった。
 - ③小林SNS推進部長より県協会のFacebook活用について報告があった。
7. 審議事項
 - 第一号議案 U15・U18優秀選手選出および表彰について
 - 第二号議案 優勝カップの新調について
 - 第三号議案 栃木県スポーツ功労賞推薦について
 - 第四号議案 新年会について
 - 第五号議案 各種表彰者の祝賀会について
 - 第六号議案 ジュニアウィンターカップ・ウィンターカップ出場4チームに対する強化費助成について
8. 議長の氏名

小曾戸和彦（会長）

9. 議事経過の要領及びその結果

会長小曾戸和彦から、本日の理事会は定足数を満たしているので適法に成立する旨告げたのち、会長小曾戸和彦が議長となり審議に入った。

議長により、定款第30条第2項の規定により次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ全ての理事の一致をもって次の者が議事録署名人に選出された。

議事録署名人 渡邊 整
同 阿久津 宏一

第一号議案

議長は、U15部会長前原延之・U18直井秀幸（日向野信行部会長欠席のため代理）より内容を説明させる。

（内容）それぞれ、優秀選手名簿を提示し、選考基準と合わせて説明する。その上でこれを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。なお、専務理事より

① 表彰についてはコロナ禍のため協会として表彰式は執り行わない。表彰の仕方については各部会で再度検討されたい。

② 2月24日（水）の宇都宮ブレックスのホームゲームに優秀選手を招待し、お披露目会を実施する予定であることが補足説明された。

第二号議案

議長は、専務理事より説明を求める。

（内容）U18ウィンターカップ県予選の優勝カップがとても古くなっている。また、U15においてジュニアウィンターカップに優勝カップがない。さらにU12の優勝カップのプレートもだいぶ古くなっていることを受け、来年度に向けてそれらを新調したいとの提案がある。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

第三号議案から第五号議案までを一括審議

議長は、専務理事より説明を求める。

（内容）まず、冒頭専務理事より第三号議案から第五号議案を一括審議したい旨の提案がある。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく認められた。

① 栃木県スポーツ功労賞の推薦が来ている。

阿部最高顧問を推薦したい。

② 2021年の新年会はコロナ禍のため中止としたい

③ 阿部最高顧問がこの度JBA功労者表彰をお受けになる。また、本協会の渡邊 整さんが4度（2年連続を2度）WJBLのレフリーオブザイヤーに選出されていることを受け、県協会として祝賀会を、現時点ではコロナ禍のため開催時期等詳細は決定できないが状況を見て開催したい。

これら第三号議案から第五号議案の説明に対し、議場に諮ったところ、満場異議なく可決決定した。

第六号議案

議長は、専務理事より説明を求める。

（内容）今年度コロナ禍のため各種強化事業（特に国体等上半期事業）を行うことができていない。そのため、県から頂いている強化費が使いきれずにいる。県スポーツ振興課とも協議した結果、国体強化という観点から今年度に限り、ジュニアウィンターカップ・ウィンターカップ出場の4チームに強化費を助成してはどうかという提案がある。

これらを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

以上ですべての議案の審議を終了したので、午後7時50分に閉会した。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

2020年11月25日(水)

議 長

氏名 小曾戸和彦 

議事録署名人

氏名 渡邊 整 

議事録署名人

氏名 阿久津宏一 